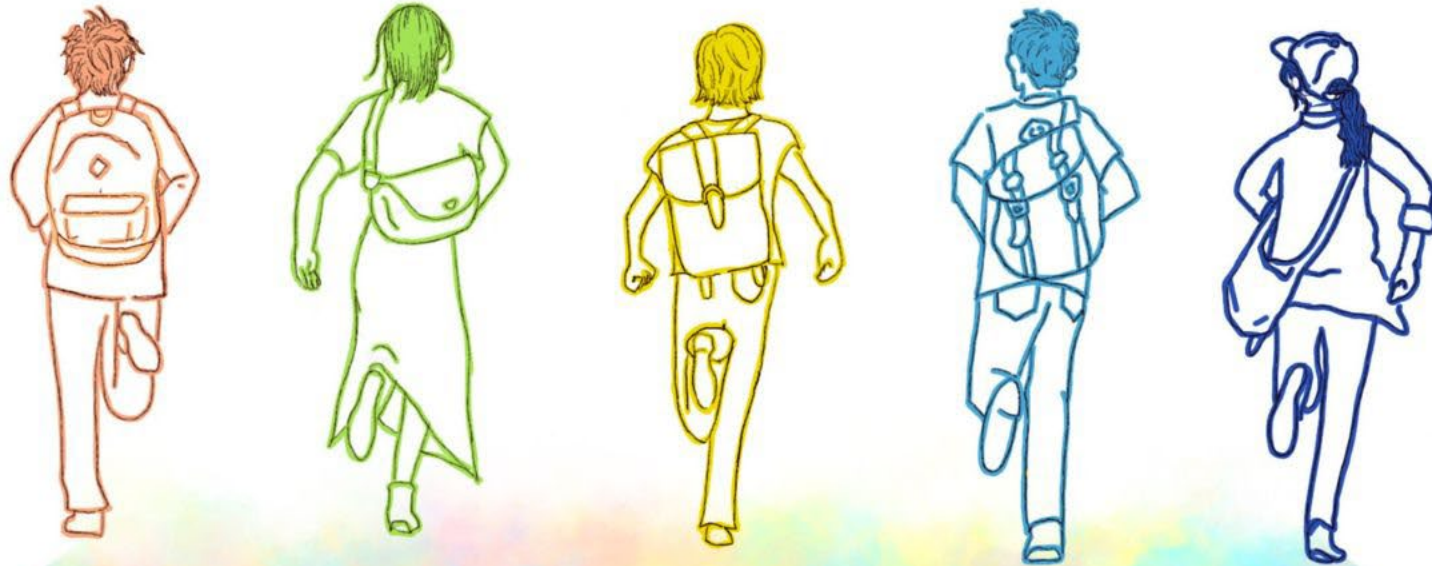


オーガニックコットンで創る  
福島のみらい



**GOALS** ～学校協働SDGsチャレンジ～

# 活動目的

『東日本大震災を**教科書の出来事**にしない！』

2022年度から「福島から考える持続可能な未来」をテーマに、オーガニックコットンを通じて、**福島に対するネガティブな印象を変える**ことを目的に活動。



## なぜ福島でオーガニックコットン？

**放射性物質の移行係数が低く、荒れた土地でも育つ**コットンをオーガニックで育てることで、化学肥料や農薬を使った従来の方法よりも自然環境を守ることができる。

## GOALSの魅力

### ◎ 首都圏の中高生が考える福島

首都圏にある学校のメンバーだからこそ気づく、外側からの視点で福島の未来について考えることができる。

### ◎ 様々な立場の人たちと共に議論

違う視点やバックグラウンドを持つ仲間と、本音で話し合いができる。また、生徒だけでなく、社会人サポーターや、震災直後から福島でオーガニックコットン事業を行う株式会社起点の皆さんが協力してくださっている。

- ・晃華学園中高（東京都） 6名
- ・麗澤中高（千葉県） 5名
- ・他、教員・社会人サポーター・(公財)五井平和財団

### ◎ 家でも学校でもない「サードプレイス」

GOALSは第3の居場所であり、お互いの学びの場でもある。

～「私たちだからこそできること」を  
考え、実行する!～

# 2023年、新たな挑戦へ

## 2022年の気づき

- ・震災や原発事故について教科書で学ぶだけでなく、**現地を体験し、自ら行動**することが大切
- ・福島には**無限の可能性**がある

## リスタート

- ・GOALSを**持続可能な活動**にし、福島の未来に向けて貢献したい
- ・とめどなく溢れる福島やオーガニックコットンへの**感謝や愛**

## 2023年へ

- ・**若者や次世代**に「福島の可能性」をもっと伝えたい
- ・私たちならではの**新しい価値**を生みだしたい

福島の**未来を創造**していくには**同世代や次世代**へのさらなるアプローチが必要

➡2023年の新たな挑戦：**オリジナル商品**を通して福島の可能性を若者に伝えていく



既存の商品の販売



オリジナル商品の開発

# 私たちだからこそできること

## 1. 学び、考える

- ・起点の皆さんから、震災経験やオーガニックコットンについて学ぶ
- ・自分ごととして、これからの活動でやりたいことを明確にする

(株)起点 代表取締役 酒井悠太さん



「震災によって環境が破壊された福島だからこそ、環境に優しく持続可能性が高い製品をつくりたい」という思いから、福島ならではのオーガニックコットン製品の事業に取り組む。

## 2. 五感で体験する

- ・いわき伝承みらい館を訪問し、語り部さんのお話を聞く
- ・オーガニックコットンの種まきを行う
- ・起点の皆さんから、日々の仕事や復興への思いなど、リアルな声を聞く



オーガニックコットンの種まき

## 3. 想いをアクションへ

- ・震災を風化させない  
首都圏に住む10代の私たちは震災の記憶があまり無いため、震災が「**教科書の出来事**」となつてしまっている  
→**震災を風化させずに福島の未来に貢献したい!**
- ・福島豊かな自然を伝えたい  
海や山をはじめとする、**豊かな自然の魅力**を多くの若者に知ってもらいたい!
- ・若い感性を活かして伝えたい  
私たちにしか創れない、**新しい価値**を生み出したい!

# 想いをカタチに

## 環境を意識した**オリジナルハンドタオル**を製作！

「震災を風化させない」「福島豊かな自然を伝えたい」という想いを伝えるための手段として、(株)起点とコラボレーションをしたハンドタオルを新たに製作しました！  
これまで起点のメインターゲットではなかった若者に向けて、GOALSらしく中高生の感性を生かした商品開発を行いました。若者にこそオーガニックコットンへの興味を持ってもらい、そこから福島の復興や環境保全につなげたいという願いを込めています。



### オリジナルポイント1

福島の豊かな自然を表したカラー



桃

山

花

空

海

### オリジナルポイント2

想いをカタチにしたロゴ



- ・3つの綿 : GOALSの3つの団体
- ・希望の光 : 福島の輝くミライ
- ・文字の繋がり : GOALSの結束力

### オリジナルポイント3

私たちを表したラッピング



包装はプラスチックではなく紙で作成。多様な価値観を活かし、共に福島の未来へ向けて、カラフルな道を創ってゆく若者をデザインしました。

# 文化祭を通して得られたこと

## 製作したオリジナルハンドタオルを通じて 私たちの想いを伝えました



### どんな工夫をしたか

- ・伝えたい内容をまとめたリーフレットやポスターを作成し、活用した
- ・2校が協力して合同で販売を行った

### 何を伝えたか

- ・福島の可能性について
- ・GOALSがどのような活動をしているか
- ・オーガニック(有機栽培)について
- ・商品に込めた想い

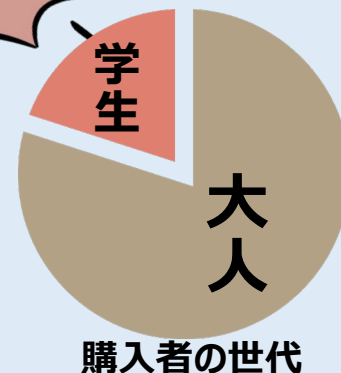
### どんな反応があったか

- ・触り心地や色に関心を持って買ってくれる方の割合が高い
- ・話を熱心に聞いてくださる方や、あまり関心を持ってくれない人など様々な反応があった

### 課題点

- ・伝えたい内容や想いはたくさんあるにもかかわらず、うまく言葉で表すことができない。
- ・今年の目的でもある「同世代の人へ伝える」ことについて、価格がハードルとなり十分に伝えきれなかった。
- ・あまり関心を持っていていない人たちにも伝わるようにするためにはどうすれば良いのか。

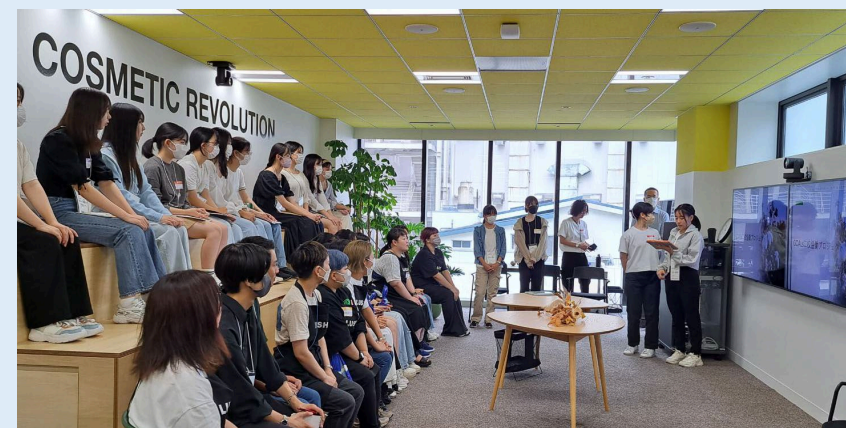
ターゲットである  
若者の購入率が低い



**同世代や次世代に繋いでいくために、私たち自身が「伝える」ためのスキルを学ぶ必要がある！**

# 英国発のナチュラルコスメブランド LUSHから「価値の伝え方」を学ぶ

私たちの想いを同世代に伝えるという目的を達成するため、LUSHを訪問  
させていただき、カスタマーエクスペリエンスのワークショップを受けて、価値  
の伝え方を学びに行きました！



ハンドタオルの魅力を  
ポストイットで整理



LUSHのスタッフの方が  
接客を実演



GOALSメンバーが  
学んだことを活かし実践



## LUSHのワークショップを受けて学んだこと

- ・一人ひとりのお客様のニーズや感情を汲み取り、接客を心がけている。  
→ **伝えたいことを押し付けるのではなく、まずはお客様のことを知り、  
双方向のコミュニケーションから感情に訴えかけられるようにする。**
- ・自分たちが作った商品や活動に「誇り」を持ち、接客を行っている。  
→ **GOALSも、私たちにしかない視点や行ってきた原体験を大切に、  
商品の魅力や福島を持続可能性について想いを伝えていく。**

### 外部出展予定

文化祭の経験と、LUSHのワークショップから学んだ  
「価値の伝え方」をもとに、多くの人に知ってもらうため、  
外部出展を行います！

9/24 (日) : イオンモール柏  
10/15 (日) : 高島屋柏店  
11/12 (日) : 柏の葉T-SITE

【来場見込500人】  
【来場見込1,000人】  
【来場見込3,000人】

# OUR GOALSに向かって歩みつづける

## 【縦軸】活動をさらに深く

今後も**活動を継続的**に行い、オーガニックコットンの出展の経験と福島への想いを次世代のGOALSメンバーに繋いでいく

- ➡外部出展で、自分の言葉で語れるように、私たち自身が学びを止めない
- ➡継続する上で最も重要な想いを言語化し、来年度に伝統を継承していく
- ➡出展形式を販売だけでなく、発表の場を増やす

## 【横軸】活動をさらに広く

ともに活動してくれる仲間を増やし、福島の未来を「自分ごと」として捉え、**アクションを起こすチェンジメーカー**を増やしていく

- ➡外部出展で、他校の生徒を巻きこみ、協働出展を実施する
- ➡福島県内外の小学生に出張授業を実施する
- ➡福島県の中高生と交流し、両者の視点を導入し活動の幅を広げる

オーガニックコットンの可能性と魅力を広く発信 × 福島県内と県外の意識のギャップを埋める

**＝ 活動の輪を全国に広げ、福島の未来を共に創造する**